

地域社会との密接な連携を築こう

～ 地域とのつながりを大切にし、生徒の健やかな成長を支えるPTA活動 ～

豊橋市立高師台中学校PTA

1 学区及び学校の概要

本校は豊橋市の南部の高台に位置しており、2つの小学校区、幸校区（約4900世帯）と天伯校区（約1300世帯）の2つに分かれている。幸校区は住宅地で商店や飲食店が多く、天伯校区には農地が多くある。つまり本校区は住宅地、商業地、農地などが混在しており、多様な考えや価値観をもつ保護者がいる地域である。また、自治会活動やPTA活動の取り組みが活発で、学校教育活動へも積極的に協力してくれる校区である。

2 研究のねらい

本校では、「地域のために自分のできることを自ら考え行動できる生徒の育成を」目指している。地域の方々がPTAや生徒たちの行事に参加し、親子で地域の行事に意欲的に参加することで、地域の活性化を図るとともに、生徒の健やかな成長につながると考え、PTAとして地域と学校とのつながりを大切に活動を実践していきたいと考えた。

3 研究の仮説

地域の一員としての自覚をもつためには、地域の人たちとの交流の場が必要である。そのために、PTAが地域と学校を結ぶ場を提供する。交流する場において生徒たちが地域の人たちの思いを感じとることで、生徒が健やかに成長していくであろう。

4 研究の方法

- (1) 「地域とのつながり」に関する活動を行う。
- (2) 「生徒の健やかな成長を支える」に関する活動を行う。

5 研究の実践

(1) 「地域とのつながり」に関する活動

ア 校区防災訓練への参加

幸・天伯校区が毎年実施している防災訓練等の行事に、生徒が家族全員で積極的に参加している。この活動に参加することで、応急処置のしかたを学んだり、仮設トイレを設置したり、炊き出しを行ったりして、地域の人たちと一緒に活動した。また、活動後には、家族で「我が家の防災計画」について話し合った。



イ 地域と協力した挨拶運動

PTAでは、年数回交通安全運動を実施している。特に、年3回の県下一斉大監視の日の前後

には登校する時間に合わせて、生徒・地域・P T A・学校職員が連携して、通学路や校門に立ち、一緒に挨拶運動を行った。P T A会員もこの活動を通して、生徒だけではなく地域の方とも交流できるよい機会となった。

ウ 地域交流会の開催

地域の代表と代表生徒が直接対話する「高師台中地域交流会」を開催し、生徒の様子を伝え、地域の要望を聞いている。ここでは、地域の方から「中学生にしてほしいこと」また、生徒からは「私たちが地域にできること」をテーマに話し合いを進めた。話し合いの中で、もっと地域の行事に参加してほしい。元気よく挨拶してほしい。など、いろいろな意見がでてきた。この交流会で得た意見を参考にして、来年度のP T A活動の活動計画に反映させている。



(2) 「生徒の健やかな成長を支える」に関する活動

ア 資源回収活動の実施

毎年12月に地域をあげての資源回収を行う。校区に協力してもらい、それぞれの収集場所にコンテナを配置する。P T Aと生徒で校区の家庭から資源を回収してくる。資源を回収するにあたり、地域からの温かい声かけがあり、生徒たちも大変だけど楽しく行うことができた。P T A会員も生徒たちの活動の様子を見ることで、生徒が成長していく一面を感じとることができた。



イ 学校自由参観日へ参加

体育祭や文化祭、選手激励会などの学校行事と定期的な授業参観を「学校自由参観日」として、保護者が自由に校内を参観できる機会がある。P T Aも保護者に積極的に参観してもらうために広報している。参観した保護者からは、「授業での真剣な姿がみられた。」「行事では家とは違った一面をみることができた。」などの意見が得られた。また、生徒も家族からほめてもらえることができ、自己の可能性を広げるとともに自信をもつことができた。

6 研究の考察

地域の方々と交流する活動を行うことで、生徒たちの地域に対する見方や考え方を広めることができた。また、地域の方々も生徒に対する接し方が変わり、学校の行事にも年々多くの方が参加するようになった。地域・学校・P T Aが積極的に交流することで生徒たちの健やかな成長へつながった。

7 成果と今後の課題

本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、十分な活動ができなかった。しかし地域とのつながりは、一年一年築いていかなければならないものである。今後もどのような状況下においても、地域とのつながりを大切にして、生徒の健やかな成長を支えていきたい。